

## 静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託契約書（案）

地方独立行政法人静岡県立病院機構（以下「甲」という。）と（以下「乙」という。）との間に、次のとおり委託契約を締結する。

### （目的）

第1条 甲は、別に定める「静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託要領」及び仕様書（以下「仕様書等」という。）の構築業務（以下「委託業務」という。）の処理を乙に委託し、乙はこれを受託する。

### （委託期間）

第2条 この委託期間は、令和3年12月 日から令和5年7月21日までとする。

### （委託費）

第3条 甲は、乙に対し委託業務を処理するための費用（以下「委託費」という。）として、総額●●●, ●●●, ●●●円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額●●, ●●●, ●●●円）を支払うものとする。

### （支払方法）

第4条 乙は、第7条に定める業務完了報告書を提出し、甲の検査による合格確認後、委託費を甲に請求するものとし、甲は、請求書を受理した日から起算して30日以内に支払うものとする。

### （契約の変更）

第5条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、この契約を変更しようとするときは、その理由を記載した書面により、その相手方に申し出なければならない。

2 甲及び乙は、必要があるときは、相手方と協議の上、委託業務の内容を変更することができる。この場合において、委託業務の内容の変更の程度に応じて、両者協議の上、委託期間を改訂するものとする。

### （業務実施計画表）

第6条 乙は、この契約締結後速やかに、様式第1号による業務実施計画表を作成し、甲に提出しなければならない。

2 甲は、前項の規定により業務実施計画表が提出されたときは、遅滞なく、これを審査し、その内容が不相当であると認めたときは、乙に修正を求めることができる。

### （業務完了報告書の提出等）

第7条 乙は、業務終了後速やかに、様式第3号による業務完了報告書を甲に提出し、承認を受けなければならない。

### （権利義務の譲渡等の禁止）

第8条 乙は、第三者に対し、委託業務の全部若しくは一部を委託し、若しくは請け負わせ、又はこの契約に基づいて生じる権利義務を譲渡してはならない。ただし、書面により甲の承認を受けた場合は、この限りでない。

2 乙は、前項ただし書に基づき甲に承諾を求める場合は、再委託の理由、再委託先、再委託の内容、再委託先が取り扱う情報及び再委託先に対する監督の方法等を甲に書面により通知する。

(契約の解除)

第9条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、この契約の全部又は一部を解除しようとするときは、その理由を記載した書面により、その相手方に申し出なければならない。

2 甲は、次のいずれかに該当する場合には、この契約の全部又は一部を解除することができる。ただし、かかる解除は、甲が少なくとも1月の猶予期間を設けて文書により催告し、催告にもかかわらず是正されなかった場合になされるものとする。

- (1) 乙が委託期間内に委託業務を履行しないとき、又は履行の見込みがないと甲が認めるとき。
- (2) 乙が故意又は重大な過失により甲に損害を与えたとき。
- (3) 乙が正当な理由がないのに甲の指示に従わないとき。
- (4) 乙がこの契約に基づく義務を履行しないとき。
- (5) 甲が、この契約について、不正の事実を発見したとき。
- (6) 契約の履行に必要な許可、免許、登録各種資格等が取消又は抹消されたとき。
- (7) 次のアからキのいずれにも該当しない者であること。
  - ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に該当する団体（以下「暴力団」という。）
  - イ 個人又は法人の代表者が暴力団員等（法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）である者
  - ウ 法人の役員等（法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。）が暴力団員等である者
  - エ 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員等を利用している者
  - オ 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者
  - カ 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者
  - キ 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者

3 甲は、契約をした日の属する年度の翌年度以降の法人予算のこの契約に係る金額について減額又は削除があった場合には、当該契約を解除する。

4 前3項のほか、甲及び乙は、必要があるときは、相手方と協議の上、この契約を解除することができる。

(損害賠償責任)

第10条 乙は、次のいずれかに該当したときは、直ちにその損害を被害者に賠償しなければならない。

- (1) 乙が委託事務の実施に関し、甲または第三者に損害を与えたとき。
- (2) 前条第2項、第3項の規定によりこの契約が解除された場合において、乙が甲に損害を与えたとき。

(開発責任者等)

第11条 乙は、プロポーザル提案時に提案した者を、開発責任者、プロジェクトリーダー、サブリーダーについて、様式第2号による開発責任者等通知書によりその氏名等を甲に通知しなければならない。これらの者を変更するときも同様とする。

プロポーザルの提案時と異なる者を、これらに指定する場合、事前に病院側に文書で協議し、承認を受けなければならない。この場合において、文書の様式は特に定めない。

2 乙は、第1項で通知した者のほか、病院にて業務を行う開発要員について、様式第2号の2で甲に通知するものとする。

3 開発責任者は、業務の処理に関し、この契約に基づく乙の一切の権限（業務委託料の変更、請求及び受領並びにこの契約の解除に係るものを除く。）を行使することができる。

4 開発責任者は、プロジェクトリーダーを兼ねることができる。

(処理状況の報告等)

第12条 甲は、必要があると認めるときは、いつでも委託業務の処理状況を乙に報告させ、又は自らその状況を調査することができる。

(資料等の提供)

第13条 乙は、甲に対し本件業務に必要な資料等の提供を要求できる。

2 甲は、本件業務遂行に必要な資料等の提供の要求があった場合には、すみやかにその是非を検討し、その結果を乙に通知する。

3 提供方法は、甲と乙が協議し決定する。

(資料の管理)

第14条 乙は、甲から提供された本件業務に必要な資料等及びその他の資料(入出力帳票、ドキュメント及び記憶媒体を含む。)について、以下のとおり、適切な管理を行う。また、第8条第1項ただし書に基づき甲が承諾した再委託先についても、同様とする。

(1) 施錠できる保管庫又は施錠もしくは入退室管理の可能な保管室に保管する等、適正に管理する。また、本件業務以外の用途に使用してはならない。

(2) 甲の事前の承諾なくして、複製・複写し、又は第三者に提供してはならない。また、本件業務の作業場所以外に持ち出してはならない。

(3) 本件業務遂行上不要となった場合、遅滞なく甲に返還する。若しくは、事前に甲の承諾を得て廃棄する。廃棄を行う場合は、当該資料に記録されている情報が判読できないように、必要な措置を講ずる。

(4) 個人情報が含まれている場合、管理責任者を定めるとともに、台帳を設け個人情報の管理状況を記録する。また、甲から要求があった場合には、この台帳を甲に提出する。

(作業場所等の制限)

第15条 乙は、機密保持及び業務遂行上の必要性から、甲の敷地内で作業を行う必要がある場合には、甲にその所有する作業場所及び機器等の使用を要請することができる。

2 甲は、乙から前項の要請がありその必要性を認める場合には、使用上の条件を明示し、有償又は無償により提供することができる。この場合、作業場所及び機器等は、甲の事務室及び機器等と明確に区別する。

3 乙は、甲の敷地内で作業を行う場合には、明示された条件のほか、次の各号に定める

事項を乙の従事者に遵守させなければならない。

(1) 就業規則は、乙が定めるものを適用すること。

(2) 乙の従事者は、乙が発行する身分証明書を常時携帯し、甲の係員から情報保護又は防犯上の必要性に基づく要請があったときには、これを提示すること。

(3) 乙の従事者は、甲が指定するネームプレートを着用すること。

(秘密保持義務)

第16条 乙は、この委託事務により知り得た秘密を利用し、または第三者に漏らし、通報もしくは文書によって配布してはならない。

2 前項の規定は、この契約終了後も継続するものとする。

3 乙は、乙の従業者に対して、前2項の義務を遵守させるための必要な措置を講ずる。

(個人情報の保護)

第17条 乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱う場合は、別記1「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

(情報セキュリティの確保)

第18条 乙は、この契約による業務を処理するため情報資産を取り扱う場合は、別記2「情報セキュリティ対策に関する事項」を遵守しなければならない。

(法令の遵守)

第19条 乙は、委託業務遂行に関する関係法令及び関係規程等を遵守しなければならない。

(従事者の労務管理)

第20条 本件業務の遂行に係る乙の従事者に対する指示、労務管理及び安全衛生等に関する一切の指揮命令は、乙がそれぞれ行うものとする。なお、作業場所が甲の敷地内になる場合の乙の従事者に係る服務規律及び勤務規則等については、甲と乙が協議のうえ決定する。ただし、この場合にあっても、本件業務の遂行に係る乙の従事者に対する指揮命令は、乙が行うものとする。

(事故等の報告)

第21条 乙は、本件業務の遂行に支障が生じるおそれのある事故の発生を知ったときは、その事故発生の原因の如何を問わず、直ちにその旨を甲に報告し、すみやかに応急措置を講じた後、遅滞なく詳細な報告書及び今後の対処方針を提出する。

2 乙は、前項の事故が個人情報の漏えい、滅失又はき損に係るものである場合には、当該個人情報の項目、内容、数量、事故の発生場所、発生状況等を詳細に記載した書面により、すみやかに甲に報告し、甲の指示に従う。

(委託費の処理)

第22条 甲又は乙が第9条の規定によりこの契約を解除した場合の委託費の処理は、委託業務のうち、甲が認める既履行部分に相当する金額を乙に支払うものとする。

(第三者権利留意)

第23条 甲及び乙は、委託業務の遂行に当たり第三者の権利を侵害しないように、それぞれの担当する業務範囲において留意する。

(合意管轄)

第24条 この契約に関する訴訟については、静岡地方裁判所を管轄裁判所とすることに合意する。

(委託業務の準備及び引継)

第25条 乙は、委託業務を開始するにあたり、甲のすべての業務関係者にヒアリングをする等遅滞なく準備を進めなければならない。乙の準備が不十分であった場合は、第10条の損害賠償の責任を負うものとする。

(定めのない事項の処理)

第26条 この契約に定めるもののほか、必要な事項については、甲乙協議の上、決定するものとする。

上記の契約の成立を証するため、この契約書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各自その1通を所持する。

令和3年 月 日

(甲) 静岡市葵区北安東4丁目27番1号

地方独立行政法人静岡県立病院機構  
理事長 田 中 一 成

(乙) ●●●●●●●●

●●●● ●●●●

代表取締役 ●●●●●●●●

## 静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託要領

地方独立行政法人静岡県立病院機構を委託者とし、●●●●●●を受託者として、令和  
年 月 日付けで締結した静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託については、  
契約書に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

### 第1 契約書第1条の委託業務の内容

静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務（詳細は別添仕様書及び貴社提案書の  
とおり）

### 第2 様式及び提出部数

委託業務に関する書類の様式及び提出部数は、次のとおりとする。

- |  |    |
|--|----|
| （1）契約書第6条の業務実施計画表（様式第1号）                     | 1部 |
| （2）契約書第11条の開発責任者等通知書及び開発要員通知書（様式第2号、様式第2号の2） | 1部 |
| （3）契約書第7条の業務完了報告書（様式第3号）                     | 1部 |

地方独立行政法人静岡県立病院機構  
理事長 様

所在地  
商号または名称  
代表者職氏名

令和 年 月 日付けで契約した静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託について、下記のとおり業務を行いたいので、契約書第6条の規定により提出します。

1 委託業務の名称 静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託

### 3 作業計画

区 分	内 容	実施予定時期	備 考

様式第 2 号

開発責任者等(変更)通知書

- 1 委託業務の名称 静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託
- 2 委 託 期 間 令和3年12月 日から令和5年7月21日まで
- 3 従事者等の氏名

	職名	氏 名	部署名	備考
開発責任者				
プロジェクトリーダー				
サブリーダー (担当範囲がわかる名称)				

上記のとおり定めた(変更した)ので通知します。

令和 年 月 日

地方独立行政法人静岡県立病院機構  
理事長 様

受託者

所在地  
商号または名称  
代表者職氏名





様式第2号の2

開発要員通知書

- 1 委託業務の名称 静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託
- 2 委 託 期 間 令和3年12月 日から令和5年7月21日まで
- 3 従事者等の氏名

期間	職名	氏 名	部署名	備考
～				

上記のとおり定めた(変更した)ので通知します。

令和 年 月 日

地方独立行政法人静岡県立病院機構  
理事長 様

所 在 地

受託者 商号または名称

代表者職氏名



様式第3号

令和 年 月 日

地方独立行政法人静岡県立病院機構

理事長 様

所 在 地

商号または名称

代 表 者 職 氏 名 ⑩

委託業務完了報告書

令和 年 月 日付けで契約した静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託  
について、下記のとおり業務が完了したので、契約書第7条の規定により提出します。

記

委託業務名	静岡県立病院機構新医療情報システム構築業務委託
契約金額	金 円（税込）
契約年月日	令和 年 月 日
契約期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
完了年月日	令和 年 月 日

※提出物を添付すること

## 別記1

### 個人情報取扱特記事項

#### 第1 基本的事項

乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の適正な取扱いに努めなければならない。

#### 第2 取得の制限

乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取得するときは、適法かつ適正な方法により取得しなければならない。

#### 第3 安全管理措置

乙は、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

#### 第4 従業者の監督

乙は、その従業者に個人情報を取り扱わせるに当たっては、当該個人情報の安全管理が図られるよう、当該従業者に対する必要な監督を行わなければならない。

#### 第5 再委託の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、個人情報の取扱いを第三者に委託してはならない。

#### 第6 複写又は複製の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、この契約による業務を処理するため甲から提供された個人情報記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

#### 第7 資料等の廃棄

乙は、この契約による業務を処理するため甲から提供を受け、又は乙自らが作成し若しくは取得した個人情報記録された資料等を、この契約終了後直ちに廃棄するものとする。ただし、甲が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

#### 第8 目的外利用・提供の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

#### 第9 取扱状況の報告等

甲は、必要があると認めるときは、個人情報の取扱状況を乙に報告させ、又は自らその調査をすることができる。

#### 第10 事故発生時における報告

乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、直ちに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。

## 別記2

### 情報セキュリティ対策に関する事項

乙は、この契約による業務を処理するに当たっては、甲が保有する情報資産及び情報システム等（以下「情報資産等」という）の適正な取扱いに努め、以下に掲げる事項について遵守しなければならない。

#### 第1 使用の制限

乙は、甲が使用を認めていない情報資産等を使用してはならない。また、院内ネットワークに端末等の機器を接続する場合は、甲の承認を得なければならない。

なお、乙は、甲の施設内で業務を実施する場合には、甲が承認した作業場所以外で業務を実施してはならない。

#### 第2 秘密の保持

乙は、業務中及び業務を終了した後も、業務により知り得た秘密を利用し、又は第三者に漏らしてはならない。

#### 第3 目的外利用及び提供の禁止

乙は、業務以外の目的で情報資産等を使用してはならない。また、甲の同意を得ずに第三者に情報資産等を提供してはならない。

#### 第4 安全管理

乙は、業務を実施するに当たり、情報資産等の漏洩の防止等について必要な措置を講じなければならない。

#### 第5 作業の監視

乙は、情報資産等に対する乙の使用状況を甲が監視することについて了承するものとする。

#### 第6 事故等の報告

乙は、事故等が発生したとき又は発生する恐れがあるときは、直ちに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。

#### 第7 知的所有権の保護

乙は、ソフトウェアを使用する場合は、使用許諾条件を遵守しなければならない。

#### 第8 従事者の教育

乙は、業務を担当する従事者に対し、情報セキュリティに関する教育を行わなければならない。

#### 第9 再委託における責任

乙は、事前に甲の承認を得て情報資産等の取扱いを第三者に再委託する場合には、再委託先においても業務の処理に必要とする情報セキュリティ対策が十分に確保されていることを確認しなければならない。また、再委託先で起きた事故に対して責任を持たなければならない。

#### 第10 監査を受ける義務

乙は、乙が実施する情報に関する業務処理等の状況を把握するため、必要に応じて甲が行う監査・検査に協力しなければならない。

#### 第11 災害発生時の対応

乙は、災害により障害等が発生し、情報に関する業務処理等の実施に影響がある場合には、直ちに、障害等の復旧に努めるとともに、甲と対策方法について協議しなければならない。